

東京藝術大学大学院インターンによる ギャラリートーク

令和元年12月から令和2年3月にかけて、東京藝術大学大学院インターン8名によるギャラリートークを行います。展示作品の見どころを初めての方にもわかりやすく、親しみやすい内容でご紹介します。藝大生ならではの切り口のトークをぜひお楽しみ下さい。

● 時間 15:30～15:50

● 集合 15:30までに各会場

「日本の婦人像」明治14年(1881)



「ヴィンチェンツォ・ラゲーザの『日本の婦人像』」

解説者：小梨貞子(美術研究科芸術学専攻 日本・東洋美術史研究室)

日 程：12/5(木)、1/24(金)、2/13(木)、2/18(火)、2/20(木)、2/27(木)

会 場：本館1階18室

ラゲーザの「日本の婦人像」の魅力を、明治の時代背景を交えてご紹介します。

「雪村の『鷹山水図屏風』の画面構成について」

解説者：笹尾梨良(美術研究科芸術学専攻 日本・東洋美術史研究室)

日 程：1/7(火)、1/8(水)、1/16(木)、1/21(火)、1/30(木)、2/2(日)

会 場：本館2階3室

雪村周継が描いた動物や自然の屏風における魅力についてお話しします。



重要美術品「鷹山水図屏風」室町時代・16世紀

「宝慶寺石仏龕」唐時代・8世紀



「宝慶寺石仏龕のかたちとその意味」

解説者：中西希(美術研究科芸術学専攻 日本・東洋美術史研究室)

日 程：1/9(木)、1/11(土)、1/25(土)、2/4(火)、2/8(土)、2/12(水)

会 場：東洋館1階1室

唐時代・8世紀の仏像の魅力について、かたちと図像の意味を中心にをご紹介します。

「『雪中群鶏』にみる渡辺省亭の洋風表現」

解説者：榎本佳(美術研究科芸術学専攻 日本・東洋美術史研究室)

日 程：1/12(日)、1/18(土)、1/22(水)、1/23(木)、1/28(火)、1/29(水)

会 場：本館1階18室

明治時代、独自の作風を展開した渡辺省亭による日本画「雪中群鶏」の魅力をご紹介します。



「雪中群鶏」明治26年(1893)

「十二月花鳥図屏風」江戸時代・17世紀



「『十二月花鳥図屏風』の魅力」

解説者：内田夏帆(美術研究科芸術学専攻 日本・東洋美術史研究室)

日 程：1/15(水)、1/19(日)、1/26(日)、2/1(土)、2/6(木)、2/9(日)

会 場：本館2階7室

屏風という形式を意識しながら、四季折々の景物が作り出す空間についてお話しします。

「日本武尊」明治39年(1906)



「青木繁が描きだした神話画『日本武尊』」

解説者：柯輝煌(美術研究科芸術学専攻 日本・東洋美術史研究室)

日 程：1/17(金)、2/28(金)、3/1(日)、3/3(火)、3/8(日)、3/12(木)

会 場：本館1階18室

明治後期の西洋画家・青木繁の「日本武尊」に注目し、神話がどのように描き出されたのかお話しします。

「『子日蒔絵棚』にみる光悦の意匠」

解説者：泉山真悠(美術研究科芸術学専攻 工芸史研究室)

日 程：1/31(金)、2/5(水)、2/21(金)、2/26(水)、3/5(木)、3/10(火)

会 場：本館1階12室

「子日蒔絵棚」を通して本阿弥光悦の蒔絵の魅力をご紹介します。



重要文化財「子日蒔絵棚」江戸時代・17世紀

「蟹に付合付録」明治14年(1887)



「宮川香山と明治の『日本』」

解説者：橋詰果歩(美術研究科芸術学専攻 工芸史研究室)

日 程：2/14(金)、2/16(日)、2/19(水)、2/23(日)、3/4(水)、3/7(土)

会 場：本館1階18室

超絶技巧の蟹に込められた香山の想いを、明治時代の「日本」を交えながらお話しします。

ギャラリートークに際して

- ・ガイド中の写真撮影、録音、録画はご遠慮下さい。
- ・ボールペン、万年筆、毛筆などの使用はご遠慮下さい。鉛筆の貸し出しがございますので、会場スタッフまでお声掛け下さい。
- ・参加は無料ですが、入館料が必要です。一般620円(520円)、大学生410円(310円)
※()内は20名以上の団体料金
※特別展は別料金が必要です。
※障がい者とその介護者1名、高校生以下及び、満18歳未満、満70歳以上の方は無料。入館の際、障がい者手帳や年齢のわかる物をご提示下さい。

お問合せ先 03-5777-8600(ハローダイヤル) 東京国立博物館ウェブサイト <https://www.tnm.jp/>